

Oxford 大学 St.Hilda's College

「梅子メモリアルガーデン」記念植樹のご報告

112 年前に津田梅子先生が逗留された Oxford 大学 St.Hilda's College (当時は Hall)の一角に、小さな梅の木が植樹されたことは、「たより」にもご紹介頂いておりますが、その植樹記念式典が今年 8 月 23 日に現地で執り行われました。梅子先生が女子高等教育への機運が高まる英国に招待されて St.Hilda's の創設者 Dorothea Beale はじめ錚錚たる女子教育のパイオニアやナイチンゲールなど多くの出会いを経験されたことが、本学の教育の中にも生かされて現在に至っていることを、あらためて感じるイベントでした。当日は、本学の飯野正子学長臨席のもとに、同窓会から久保内会長、江尻前会長、サーリーロンドン支部長ほか、国内外から駆け付けた同窓生 22 名に加え、前日までヨーク大学で夏期語学研修に参加していた約 30 名の本学学生も参加致しました。

もともと St.Hilda's College の同窓会の要職 Development Officer の Bronwyn Traverse さんが一昨年日本を訪問された折に本学を訪ねてくださり、梅林をご覧になって「ぜひ St.Hilda's College にも梅の木を」とのアイデアが生まれたのがきっかけでした。私がちょうど 1 年の在外研究で St.Hilda's College にお世話になっていたこともあり、そのありがたいお申し出に津田の関係者からもなにかしらのお手伝いをさせて頂ければと思って有志の方々によびかけたところ、2011 年 3 月の帰国の折には、同窓生はじめ有志の方々からの 4000 ポンドのご寄付をお届けすることができました。6 月に北の地にもあう品種とのことで紅梅が植樹され、まだまだ小さな木ながら、Fellows' Garden の一角にイギリスの花々に囲まれて育っています。8 月の式典では、赤い煉瓦にはめ込まれた記念のプレートが飯野学長によってお披露目となりました。プレートに刻まれたのは "In honour of Ume Tsuda, visiting student in 1899, pioneer in women's higher education in Japan and founder of Tsuda College, Tokyo" という文字です。St.Hilda's の名誉教授で同窓会誌の編集を 80 歳過ぎた今でもお元気で続けておられる Dr.Margaret Rayner の講演を伺い、和やかなお茶の会やオックスフォードの見学など、大変心のこもったおもてなしを頂きました。

来年には白梅も植えられるとのことで、今回新たにまたご寄付くださった同窓生の方々の 1000 ポンドをお渡しして、これからも梅の木の成長を見守っていきたく願っております。同窓生の方々が英国をご訪問の際には、ぜひ、St.Hilda's College をお訪ねくださり、梅の木を見て頂けたらと存じます。入口の守衛所で「津田塾大学の関係者」であることを伝えて頂ければ、梅の木の場所を教えてくださいます。また事前にご連絡できれば (St.Hilda's College のホームページよりアクセス可)、アーカイブスで梅子先生の直筆によるお礼状 (当時の校長に宛てられたものです) も見せて頂けると存じます。

St.Hilda's College からは、二度にわたって合計 5000 ポンドの寄付が津田塾関係者から寄せられたことに、丁重な御礼がございました。私からも心より御礼申し上げます。本当にありがとうございました。学長のスピーチにもございましたが、これから未来に向けて、二つの大学の友情がさらに広がっていくことを願っております。

(2011 年 9 月記)

早川敦子